

住所 〒770-8539

徳島県徳島市蔵本町1丁目10-3

TEL 088-631-7151 (代表)

Mail kenshu@tph.gr.jp

[ホームページ]



[Instagram]



【アクセス】

・JR 徳島線「蔵本駅」より徒歩10分

・徳島自動車道「藍住IC」より県道1号経由にて車で7km、約15分

Tokushima Prefectural Central Hospital



All For One



One For All



令和9年度 初期臨床研修プログラム

■ JCEP Japan Council for Evaluation of Postgraduate Clinical Training 卒後臨床研修評価機構認定病院 徳島県立中央病院

病院長挨拶 *Message*

★
社会へ貢献できる医師を
共に目指しましょう



徳島県立中央病院 病院長
いざき ひろふみ
井崎 博文



令和9年春、初期臨床研修のスタートを迎える皆様へ。徳島県立中央病院長の井崎博文です。
当院は、徳島県内唯一の基幹災害拠点病院として、いかなる有事においても県民の皆様の「命を繋ぐ要」であり続ける宿命を担っています。将来予測される南海トラフ巨大地震や新たな感染症に備え、当院は本年3月に本館棟の改修を完了し、高度急性期医療の新たなステージへと移行しました。
救急エリア内で重篤患者の処置を迅速に行う「救急手術室」や重症感染症患者の受け入れが可能な感染対応処置室、そして「GHCU（総合ハイケアユニット）」を新設し、ICUから一般病棟までシームレスで質の高い急性期医療を提供しています。

研修医の皆様にとっては、多彩で重症度の高い症例を経験し、医師としての確固たる基礎を築く絶好の環境です。同時に、AIを活用した「スマートホスピタル化」を進め、記録業務の負担を減らすことで、皆さんが患者様としっかり向き合える働き方改革も実現しています。
私は19歳で医師を志して以来、徳島の地に育てていただきました。私たちは日本で1番効率的で質の高い医療を提供する病院を目指し、地域医療の未来を牽引する情熱ある皆様をお待ちしています。



強くて優しい 病院づくり Concept

“強くて優しい病院づくり”を基本コンセプトとして、救急、がん、周産期、小児、精神を中心に、高度先進医療全般にかかわる急性期病院として、また基幹災害拠点病院として、更なる進化を目指していきます。



県民に親しまれ 信頼される 病院となる

To become a hospital that is loved and trusted by the people of the prefecture



当院で できること What we offer

災害医療

- 基幹災害拠点病院
自衛隊救難ヘリが着陸可能な大型ヘリポート
免震構造・災害備蓄倉庫、非常用自家発電装置
医療ガス設備を配置した幅広いトリアージスペース
- DMAT(災害派遣医療チーム)
- 災害拠点精神科病院
- DPAT(災害派遣精神医療チーム)

周産期医療

- 地域周産期母子医療センター
NICU・GCU:リスクのある妊娠に対する医療や新生児医療の実施
- 新生児蘇生法(NCPR)講習
- 産後ケア事業

小児医療

- 小児救急医療拠点病院
紹介患者及び救急搬送患者に対応(24時間365日)

がん治療

- 地域がん診療連携拠点病院
高精度放射線治療装置(リニアック)
ダ・ヴィンチ(手術支援ロボット)
PET-CT・内視鏡手術・放射線治療・化学療法など
幅広い専門的医療
- がん診療支援センター
緩和ケア外来
セカンドオピニオン外来
県民公開講座

救命救急医療

- 救命救急センター
手術部門・集中治療部門との連携
- 総合診療
- ドクターヘリ基地病院
- 小児救急医療拠点病院
- 外傷センター
- ドクターカー運用
- 緊急ACP(Advance care planning)

精神医療

- 精神科救急、合併症受入病院
精神科疾患全般を対象とした診療
急性期病院型総合病院として身体合併症に対応
- 認知症ケアチーム・リエゾンチーム
- 基幹型 認知症疾患医療センター
- 医療観察法鑑定入院医療機関
- 医療観察法指定通院医療機関



★協働型医療を担うプロフェッションとして

生成AI、AGI、5G遠隔診療などIT技術、外科手術支援ロボティクスなどが進化し、医師に求められるプロフェッショナリズムが重要となるなか、基本的な医療技能を習得するために、初期研修は非常に重要です。Strike while the iron is hot.優れた研修は、将来の臨床能力の発展に大きく貢献します。隣接した大学病院とともに総合メディカルゾーンを構成する当院では、屋根瓦式の教え教えられるチーム指導体制を整えています。EBMに基づいた、透明性のある、患者さんに優しい全人的医療を目標に、科学的で、個々の研修医にあった人間性豊かな指導ができる、経験豊富な専門医資格をもつ研修指導医が多数在籍してシームレスな医師養成を行います。Doctor・Medical staff・patient・AIの4者が協働する医療のなかで、自らを高める姿勢をもったみなさんのお越しを心よりお待ちしております。



臨床研修管理委員会
委員長(消化器内科部長)
おもや としひろ
面家 敏宏



臨床研修病院として *Philosophy*

01 理念

患者に信頼される医師となるため、医師として人格を涵養し、基本的な診療能力と全人的医療を行う臨床力を身につけることを理念としています。

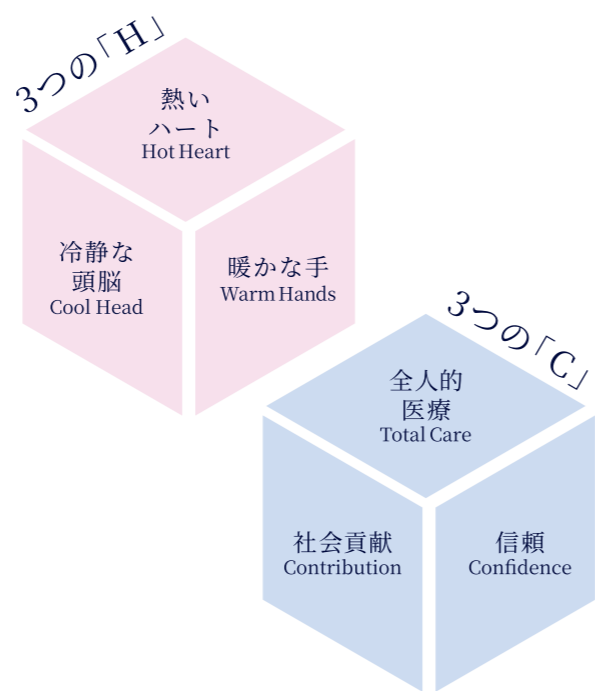
02 基本方針

- プライマリケアの基本的な診療能力(知識・態度・技能)を身につけ、幅広い疾患に対応できる能力を養う。
- 疾病の治療において、一人の尊厳ある個人として患者を全人的に診る能力を身につける。
- 患者への慈愛の心を培い、信頼される医師として、チーム医療を実践し、社会に貢献することに努める。
- 日本及び世界の医療に貢献できる医師を目指す。

03 役割・機能

県民に支えられた地域医療の先導的な役割を果たす病院として、患者さんを中心としたチーム医療を実践し、高い倫理性に基づいた世界水準の医療を提供し、医療文化向上のための人材を育成します。

04 指針と目標



05 総合メディカルゾーン構想

県立中央病院と徳島大学病院が隣接している強みを生かし「総合メディカルゾーン」として医療や教育など積極的に連携をすすめています。

概要と臨床指標 *Clinical indicators*

令和8年4月1日現在

病床数	440床(一般病床390床、結核病床5床、感染症病床5床、精神病床40床)				
診療科	呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、血液内科、糖尿病・代謝内科、腎臓内科 消化器外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、脳神経外科、急性期リハビリテーション科 整形外科、形成外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、 放射線診断・IVR科、放射線治療科、病理診断科、救急科、麻酔科、臨床腫瘍科、総合診療科、集中治療科				
主な医療機器	ダ・ヴィンチ(手術支援ロボット) リニアック2台 PET-CT SPECT MRI (3.0T及び1.5T) CT(256列及び128列) DSA装置3台(パイプラインDSA2台、IVR-CT1台)				
臨床指標 (令和7年実績)	一日平均入院患者数	337.1人	救急医療	3次救急(救命救急センター)	
	一日平均外来患者数	554.5人		救急患者総数	13,622人
	平均在院日数	9.9日		うち救急搬送受入数	5,956人
	年間手術数	5,451件		ドクターヘリ出動件数	319件
	分娩件数	194件		ドクターカー出動件数	270件

医師数 *Number of doctors*

令和8年4月1日現在
(初期臨床研修医を除く)

診療科名 (所属名)	呼吸器内科	消化器内科	循環器内科	脳神経内科	血液内科	糖尿病・代謝内科	外科	心臓血管外科	脳神経外科	整形外科	形成外科	精神科	小児科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	耳鼻咽喉科	放射線科	病理診断科	救急科	麻酔科	臨床腫瘍科	総合診療科	集中治療科	計
医師数	5	13	8	3	5	4	12	2	4	5	3	6	9	3	6	4	4	8	2	10	5	2	2	4	129
うち指導医数	2	10	6	1	4	2	10	1	3	4	2	4	4	2	5	3	2	7	2	5	2	1	1	85	

主な医療機器 *Medical equipment*



リニアック(2台)



PET-CT



ダビンチ5

基幹型初期臨床研修 *Care Early Clinical Training*

令和9年度 臨床力養成プログラム

1年次	必修11ヶ月	救急科2ヶ月、外科2ヶ月、内科系7ヶ月 (※内科系7カ月:消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、血液内科、糖尿病・代謝内科から3診療科を各1ヶ月、2診療科を各2ヶ月)
	必修or選択1ヶ月	3月のみ必修もしくは自由選択 (※必修:小児科、産婦人科、精神科を1名ずつ、それ以外は23診療科から自由選択)
2年次	必修5~6ヶ月	救急科もしくは麻酔科、小児科、産婦人科、精神科を各1ヶ月(1年次に履修している場合はそれ以外)/地域研修2ヶ月(三好病院、海部病院、上那賀病院(自治医のみ))
	選択6~7ヶ月	23診療科、集中治療・眼科(徳島大学病院)、総合診療科(健生病院)から1ヶ月 希望者は四国他県中央病院および鳴門病院での1週間の研修が可能 ※四国他県中央病院:愛媛県立中央病院、香川県立中央病院、高知医療センター

※選択科目23診療科

呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、血液内科、糖尿病・代謝内科、外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻咽喉科、放射線科、病理診断科、救急科、集中治療科、麻酔科、総合診療科

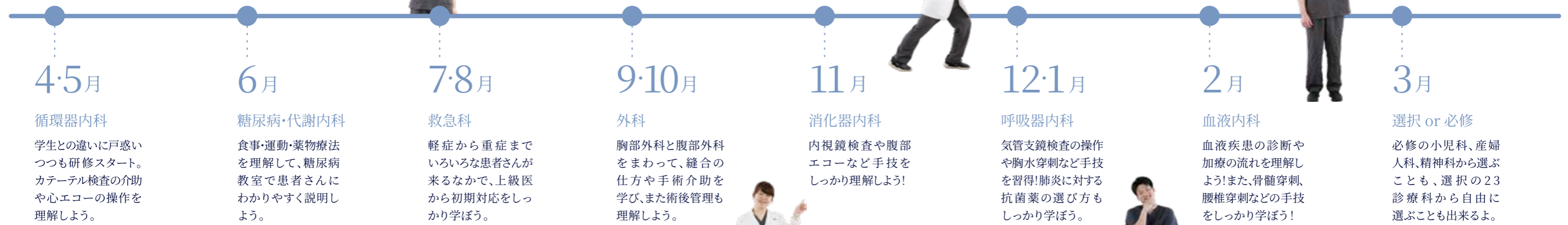


POINT

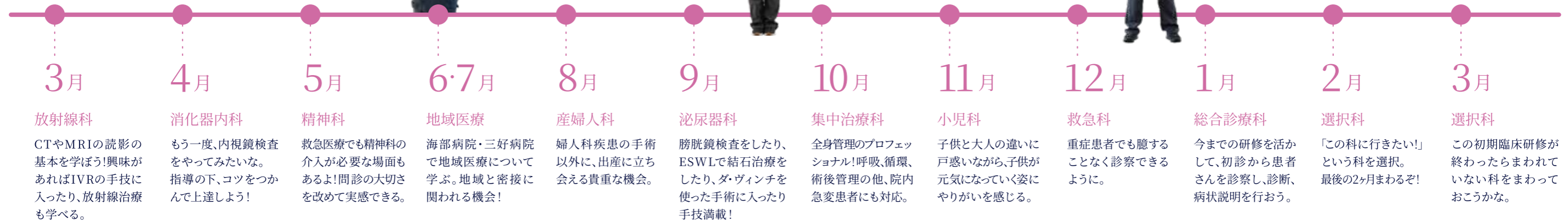
当院は急性期病院であり
基幹災害拠点病院！
3次救急まで担う病院
ならではの症例数の多さと
疾患の幅広さで
やりがいを感じられます！

ローテート例 *Rotate*

Check! ローテート例 1年次



Check! ローテート例 2年次



年間スケジュール *Annual Schedule*

April 4月	辞令交付式、歓迎会、オリエンテーション、メンターの会	October 10月	災害訓練
June 6月	病院説明会(6月13日)	November 11月	メンターの会
July 7月	レジナビ大阪(7月5日) 採用試験(7月31日)	December 12月	内定者説明会、忘年会、臨床研修終了者近況報告会、クリスマスコンサート
August 8月	阿波踊り、採用試験(8月6日か8月7日)	March 3月	修了式、送別会

※採用試験日はいずれか1日となります。

月間行事 *Monthly Events*

月間行事の一例

曜日	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1週目	イブニング レクチャー	—	医療安全 研修会※2	—	グランド カンファレンス※1
2週目	—	臨床ベーシック レクチャー	臨床倫理 カンファレンス	—	グランド カンファレンス※1
3週目	イブニング レクチャー	—	医療英会話	CHANEL カンファレンス※1	感染対策 研修会※2
4週目	M&M カンファレンス※1 (偶数月の開催)	—	医療英会話	臨床ベーシック レクチャー	グランド カンファレンス※1 (CPC)

※1 グラントカンファレンス、CHANELカンファレンス、M&Mカンファレンスは参加必須です。

※2 医療安全研修会、感染対策研修会はいずれも年2回の参加が必須です。

※ その他の研修会等は任意参加となります。スキルラボ、図書室は24時間利用可能です。

先輩からのメッセージ *A Message from a Senior*

Interview No.1



初期臨床研修医2年次
かがわ ひろみ
香川 尋美

Q 休日の過ごし方は？
友達と美味しいご飯を
食べに行ったり、
バスケの試合を
見に行ったりしています！

成長が実感できる研修環境

こんにちは。初期研修医2年次の香川尋美です。当院で初期研修をして私が魅力に感じていることをお伝えします。

まず1つ目は、様々な症例を経験できることです。特に、救急科研修や当直では、研修医が初期診療を行い身体診察や検査、治療方針などを各症例に応じて考える力が身につきます。

2つ目は、充実した研修環境です。各診療科の研修では、病棟業務や手技などを実践する機会が多く、上級医と振り返りを行いながら成長でき、安心して診療に取り組むことができます。また、メンター制度もあり、研修や私生活のことなどを年次が近い上級医に相談しやすい環境が整えられています。

是非、皆さんにも当院で2年間の充実した研修生活を送っていただきたいと思います。



何事にも取り組める環境

2024年より徳島県立中央病院で研修を行った宮本賢三と申します。自身の経験をもとに、当院での研修の魅力をも2点ご紹介します。

1つ目はプログラムと指導体制の充実です。2年間で基礎知識と技術を幅広く習得し、その後は自身の興味ある分野をさらに深く学ぶことができます。特に救急外来では1次から3次まで多様な症例を経験でき、主体的に診療に取り組みながら指導医から手厚いフィードバックを受けられます。

2つ目は同期の存在です。当院の研修医は全国から集まり、悩みを相談し合い、互いに教え合える環境があり、忙しい研修の中でも大きな支えとなります。これから研修医になる皆様が、充実した2年間を過ごせる環境です。

Interview No.2



令和7年度
初期臨床研修修了
みやもと けんぞう
宮本 賢三



育児休業を取得してワークライフバランスを充実！

育児休業を取得し、子どもと日々向き合う時間を過ごしました。生活のすべてが子ども中心となる中で、わずかな変化や成長を間近で感じ続ける経験は、これまでの仕事では得られない非常に貴重なものでした。

授乳や寝かしつけ、体調の変化への対応など、日常の一つひとつに責任が伴い、試行錯誤の連続でしたが、その分、家族と過ごす時間の大切さや、支え合うことの意味を深く実感する機会となりました。

この経験を通して、患者さんやご家族の背景にある生活や思いに、これまで以上に想像力を持って向き合えるようになったと感じています。

育休を取得できた環境にとても感謝しています。



Interview No.3



令和7年度
初期臨床研修修了
いのうえ のぼる
井上 昂

臨床研修実績 *Clinical Training Record*

令和8年4月1日現在

年次	令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	1年次	2年次	後期研修医	1年次	2年次	後期研修医	1年次	2年次	後期研修医	1年次	2年次	後期研修医
人数 (初期は基幹型)	10名	13名	14名	13名	11名	16名	13名	13名	18名	14名	13名	16名
出身大学	徳島大学 自治医科大学 帝京大学	徳島大学 自治医科大学 香川大学 鳥取大学 帝京大学	徳島大学 自治医科大学 香川大学 鳥取大学 兵庫医科大学 獨協医科大学	徳島大学 自治医科大学 香川大学	徳島大学 自治医科大学 帝京大学	徳島大学 自治医科大学 香川大学 産業医科大学 兵庫医科大学	徳島大学 自治医科大学 福岡大学 大阪大学	徳島大学 自治医科大学 鳥取大学 兵庫医科大学 獨協医科大学	徳島大学 自治医科大学 香川大学 鳥取大学	徳島大学 自治医科大学 山形大学 大阪大学 高知大学	徳島大学 自治医科大学 福岡大学 大阪大学	徳島大学 香川大学 鳥取大学

研修後の進路 *Career Paths After Training*

初期臨床研修修了後、特別な制約はありません。①初期臨床からそのまま当院の専門研修プログラム(内科、救急科、精神科)へシームレスに移行、②県内外の大学病院や基幹病院で医療に従事、③県内の中核病院で地域医療に従事、④大学院へ進学など、各自の将来ビジョンに基づいて、多岐に渡る選択肢のなかから研修修了後の進路を選ぶことができます。

01 そのまま当院で専攻医を目指す

内科・精神科	1年以上	+連携施設などで 専門研修
救急科	半年以上	



02 大学病院や他の基幹病院へ

徳島大学病院、神戸市立医療センター中央市民病院、藤田医科大学、亀田総合病院、倉敷中央病院、大阪大学病院など、県内外を問わずスキルアップすることができます。

03 地域医療・ローテーション先へ

地域医療に関心のある研修医は、初期研修で経験したローテーション先の関連病院や県内医療機関へ進み、地域に密着した医療に携わるケースがあります。幅広い診療を経験し、地域の中核医師としての役割を担うキャリアです。

S | N | S *Social Media*

Instagram

徳島県立中央病院の公式アカウントで当院の最新情報をInstagramでもチェックいただけます！
素敵なスタッフもご紹介しております。
QRコードからアクセスしてぜひご覧ください。

@tokushima_kenchu_hospital



下記QRコードからアクセス！



募集要項 *Application Guidelines*

令和9年度 初期臨床研修募集要項

応募資格	令和9年3月 医師免許取得見込者								
募集人数	1年次:12名 ※予定								
研修期間	令和9年4月1日から2年間								
選考方法	小論文及び面接/マッチング方式により採否を決定								
申込期間	7月17日(金)必着(郵送または持参)								
選考日	7月31日(金)・8月6日(木)・8月7日(金)のいずれか								
提出書類等	選考申込書を当院ホームページ(右記QRコード)からダウンロードしてください。 ※募集人数・選考日等が変更となる場合がありますので、お申し込みの前にホームページにて最新情報をご確認ください。								
申込方法	封筒オモテに「臨床研修医」と朱書きし、選考申込書を簡易書留郵便で送付してください。 持参される場合は、平日(午前9時～午後5時)にお願いします。								
待遇	<table border="1"> <tr> <td>給与</td> <td>1年次 354,496円 2年次 364,820円 超過勤務手当、通勤手当、当直手当、賞与年2回(最大4.5か月)別途支給</td> </tr> <tr> <td>休日休暇</td> <td>休 日:土・日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日) 休 暇:有給休暇20日/年、夏季休暇3日、その他特別休暇あり</td> </tr> <tr> <td>社会保険</td> <td>公務員共済(短期)、厚生年金※、雇用保険※、労災保険※ ※一定期間経過後は、公務員共済(長期)、退職手当、公務災害</td> </tr> <tr> <td>研修等</td> <td>基準内での学会・研修などの旅費・参加費の支給あり</td> </tr> </table>	給与	1年次 354,496円 2年次 364,820円 超過勤務手当、通勤手当、当直手当、賞与年2回(最大4.5か月)別途支給	休日休暇	休 日:土・日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日) 休 暇:有給休暇20日/年、夏季休暇3日、その他特別休暇あり	社会保険	公務員共済(短期)、厚生年金※、雇用保険※、労災保険※ ※一定期間経過後は、公務員共済(長期)、退職手当、公務災害	研修等	基準内での学会・研修などの旅費・参加費の支給あり
給与	1年次 354,496円 2年次 364,820円 超過勤務手当、通勤手当、当直手当、賞与年2回(最大4.5か月)別途支給								
休日休暇	休 日:土・日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日) 休 暇:有給休暇20日/年、夏季休暇3日、その他特別休暇あり								
社会保険	公務員共済(短期)、厚生年金※、雇用保険※、労災保険※ ※一定期間経過後は、公務員共済(長期)、退職手当、公務災害								
研修等	基準内での学会・研修などの旅費・参加費の支給あり								
身分	フルタイム会計年度任用職員								
労務管理	勤務時間7時間45分(8:30～17:15) 週休2日制 年間最大想定時間外・休日労働時間A水準予定								
その他	病院見学は随時受付(kenshu@tph.gr.jp)								
提出及び問い合わせ先	宛 先:徳島県立中央病院事務局総務担当 住 所:〒770-8539 徳島県徳島市蔵本町1丁目10-3 電 話:088-631-7151(担当:渡邊) E-mail:kenshu@tph.gr.jp								



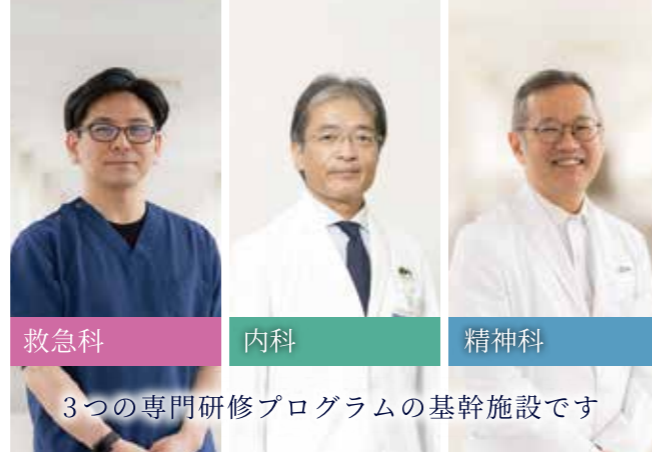
病院見学等のお問い合わせもお気軽に♪
たくさんのご応募お待ちしております！



初期臨床から

つながる

専攻研修 *Specialized Training*



3つの専門研修プログラムの基幹施設です

希望に沿って柔軟にカスタムできるプログラム



救急科 専攻医
とくだしんのすけ
徳田 進之介

救急科専攻医として徳島県立中央病院救急科専門研修プログラムで研修を行なっている、医師4年目の徳田進之介と申します。当院で初期研修後にそのまま救急医として働いています。

当院では1次救急から3次救急まで幅広い症例を経験することができます。当科・他科ともに専門医が充実しており、診療科の垣根を超えたご指導を受けることができます。

徳島の医療のために共に働くチームメイトをお待ちしています!どうかよろしくお願いたします!

施設見学、 応募申し込みについて

随時受付中!お気軽にご連絡ください。

【お問い合わせ先】

宛 先: 徳島県立中央病院事務局総務担当

住 所: 〒770-8539

徳島県徳島市蔵本町1丁目10-3

電 話: 088-631-7151

E-mail: kenshu@tph.gr.jp



救急科 *Emergency Medicine*

救急科専門研修プログラム

当院では徳島県全体をフィールドとした専門医プログラムを用意しています。3次救命救急センターである当院と各連携病院で、地域医療・プライマリケアから3次救命・外傷・集中治療まで広い範囲をカバーした内容となっています。

また、従来通りの救急医学会専門医制度にそった研修を行うことも可能です。それぞれのライフスタイルにあったプログラムを、オーダーメイドで組むことも可能です。救急医療は地場産業であると言われてはいますが、まさにその通りで、各港で様々な魚があがるように、各地域で地域にあった救急医療・地域医療が提供されなくてはなりません。細分化する医学業界のアンチテーゼとして、救急医療は地域と医療と皆さんの情熱を結びつけます!

プログラム名	徳島県立中央病院救急科専門研修プログラム		
募集人数	2名	選考方法	書類審査及び面接
応募資格	<ul style="list-style-type: none"> 日本の医師免許を有すること 臨床研修修了登録証を有すること(令和9年3月31日までに臨床研修を修了する見込みのある者を含む) 一般社団法人日本救急医学会の正会員であること(令和9年4月1日付で入会予定の者も含む) 		



24時間
365日体制で
幅広く受け入れ



内科 *Internal Medicine*

内科専門研修プログラム

内科専門研修は、内科領域全般の診療能力を養うことで、臓器別内科系Subspeciality分野へもスムーズに進むことができます。

当院の内科専門研修プログラムは、“徳島の未来を担う内科専門医育成プロジェクト”と称し、徳島県東部医療圏の中心的急性期病院である当院を基幹施設として徳島県内にある南部医療圏、西部医療圏の連携施設等でも研修をします。

3~5年間の研修期間で内科専門医制度の研修カリキュラムに定められた内科全般の研修に加え、地域医療、チーム医療の研修と実践を経験し、徳島県の内科医療をしっかりと守れる「強くて優しい内科専門医」を目指す専攻医を募集します。

プログラム名	徳島県立中央病院 内科専門研修プログラム “徳島の未来を担う内科専門医育成プロジェクト”
募集人数	3名
選考方法	書類審査及び面接
応募資格	令和9年3月初期臨床研修修了見込者または初期臨床研修修了者

全人的・包括的
医療を目指します!



精神科 *Psychiatry*

精神科専門研修プログラム

基幹病院となる当院の精神科は、地域の基幹施設としてすべての精神疾患を診療しています。専攻医は、入院患者の主治医となり、指導医の助言を受けながら、実際に治療にあたります。脳器質的要因、心理的要因、社会的要因をバランスよく考慮し、薬物療法・精神療法・その他の身体的治療法を柔軟に組み合わせた最善の医療を学ぶことができます。

さらに、当院は精神症状を持つ救急患者にも常に対応しています。迅速で適切な治療方針の決定を学ぶことができるとともに、他職種と協働し初期治療から社会復帰まで切れ目のない医療を身につけることができます。

地域医療の担い手として成長し、協働できる専攻医を募集しています!

プログラム名	徳島県立中央病院 精神科専門医研修プログラム
募集人数	3名
選考方法	書類審査及び面接
応募資格	令和9年3月初期臨床研修修了見込者または初期臨床研修修了者

6名の常勤医が
診療に当たっています

